

自公過半数割れ

与党

121

参院の議席数
(21日午前4時15分現在)

残り 5

定数 248

過半数 125

諸派・
無所属3分の2
166諸派・
無所属 野党

122

参院選

第27回参院選は20日、投開票された。自民、公明両党は計66の改選議席を大幅に減らす大敗で、非改選75を合わせても参院全体で過半数(125)を割り込んだ。物価高対応への批判が響いた。石破茂首相(自民総裁)は続投する意向を表明。ただ衆院に続き参院でも少数与党に転落したことで、党内から責任論が出るのは必至だ。

選挙前 141							選挙前 99						
自民	公明	無所属	諸派	みんな	保守	社民	参政	れいわ	国民	共産	維新	立民	
38	8	8	1	0	2	1	13	3	16	3	6	21	
(52)	(14)	(7)	(1)	(0)	(0)	(1)	(1)	(2)	(4)	(7)	(6)	(22)	
62	13	5	1	0	0	1	1	3	5	4	12	16	
与党							野党・諸派・無所属						

「欠員8

非改選含む

※正副議長は元の党派に戻した。非改選数の選挙区欠員1は今回選挙で補充

立憲民主党は改選22からの上積みを図ったが不振。国民民主党は改選4から16に、参政党は改選1から13に伸ばした。

21日午前4時15分時点で、改選52の自民は38、改選14の公明は8に後退した。立民は21。日本維新の会は改選6を維持した。共産党は改選7から3に減らした。れいわ新選組は改選2から3に増やした。日本保守党は2議席、政治団体の「チームみらい」は1議席を獲得した。社民党も1議席を確保した。みんなでつくる党は議席に届かなかった。

今回の参院選は、改選124(選挙区74、比例代表50)と東京選挙区の非改選欠員1補充の計125議席を争った。

共同通信社が21日午前3時現在で集計した推定投票率(選挙区)は58・52%。最終的な投票率は、前回2022年の52・05%を上回る見通しだ。